

令和7年度自己点検・自己評価表

かわしまこども園

評価実施日: 令和8年3月31日

評価については、A:達成できた B:ほぼ達成できた C:一部改善を要する D:改善を要するの4段階で評価する。

評価項目	評価	
(1)園の組織と運営に関すること		
職員の共通理解のもと、自園の保育課題を明確にし、子ども・保護者・地域の実態や実情に応じた適切な保育目標となっているか。	B	「入所するこどもの最善の利益の追求」の為に、保育理念、保育方針、保育目標を理解して、その実践に取り組まなければならない。
明確な目標をもって職員会議が運営され、教職員の共通理解のもと、機能的に組織・運営がなされているか。	A	毎月1回の職員会議を通じ、行事や保育内容等の確認を行っている。また、クラスでの会議の時間を定期的に持ち共通理解を図っている。
事故等緊急事態に対する安全対策及び、対応マニュアルの整備がなされているか。	A	その都度、園内での事故は、職員間で共有し安全対策をとり、マニュアルを整備している。
保育目標や方法等を共通理解し、組織的な園内研究の推進に努めているか。	B	園内研修を実施して共通理解の推進に努めねばならない。尚、共有事項は、書類などに残すようにして、年度初めに話し合っている。
(2)保育内容とその展開に関すること		
各年齢ごとの重点目標を明確にし、具現化した保育課程の編成・実施がなされているか。	B	年齢ごとの保育課程の編成・実施がなされている。
現代の保育課程を見通した道徳性の芽生えを培う保育や、幼児期にふさわしい知的発達等を促す教育が推進されているか。	B	こどもと共に考え、活動する姿勢を大切に見通しを持った保育を実践していく。
こどもの実態や育ちをとらえ、ねらいや内容を設定し、計画的に実践しているか。	A	月案、週案にそって実践している。
こども一人一人を尊重し、保育のねらいをもって関わっているか。	A	こども一人一人の目標と課題を明確にし、援助の仕方について職員間で話し合う。
子どもにとって主体的な生活態度や創造的な思考を促すような、魅力ある環境構成がなされているか。	B	常に年齢、発達に応じた環境を考え、こどもの自発性を発揮できるよう、適切な援助を心がけていく。
(3)健康管理・食事に関すること		
登園時や保育中のこどもの健康管理は、こども一人一人の健康状態に応じて実施しているか。	A	登園時の保護者との話や、登園してからのこどもの様子を観察し、一人一人の健康状態に応じた健康管理を実施している。
健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させているか。	A	診断結果の伝達は出来、保育にも反映されている。
感染症の対応については、発生の状況を必要に応じて保護者、全職員に連絡しているか。	A	発生時には、楽メや掲示板や口頭を通じ保護者・全職員に連絡している。
アレルギー疾患をもつこどもの状況に応じて適切な対応を行っているか。	A	専門医の診断の上、マニュアルに準じて適切な対応を行っている。
こどもが食事を楽しむことが出来るように工夫をしているか。	A	個人差や食欲に応じ、量・材料・切り方等を工夫し、家庭と連携を図りながら、きめ細かい対応を心掛けている。

(4) 保育環境に関すること		
保育室・遊戯室・園庭等は保育士の創意を生かした環境整備が行われているか。	B	こどもが心地よく過ごせる環境を心がけ、危険防止にも注意をはらっている。
こどもがイメージを広げたり刺激されたりする素材や遊具等の環境が工夫され、活用出来ているか。	B	遊具等の環境をより充実させる為に、職員間で何がこどもにとって、必要なのかを話し合っていく。
職員が協力して園庭・園舎の整備・管理に当たり、定期的に点検を行っているか。	A	防災設備点検(年2回)、保育所内外の安全点検(毎日)、園庭の草取り(必要時)等を職員が協力して実施している。
地域の自然環境や公共施設等を把握し、有効に活用しているか。	B	散歩や園外保育等をもっと行い、自然環境に触れ公共施設を有効に活用していきたい。
長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容及方法に配慮しているか。	A	家庭的な保育を心がけ、職員の引き継ぎ時にこどもの状況をきちんと伝えるようにしている。
障害児保育のための環境を整備し、保育の内容及方法に配慮しているか。	B	障害児童に対する保育の仕方について、園全体で話し合い、情報を共有している。
(5) 子育て支援に関すること		
一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。	A	送迎時の日常的な情報交換に加え、必要に応じて、個別に相談に応じている。
家庭の状況や保護者との情報交換の内容及必要に応じて記録されているか。	A	必要なことは記録している。
(6) 家庭や地域との連携に関すること		
小学校と定期的に交流したり保育内容や児童・幼児等の理解を行ったりしているか。	B	定期的に小学校との連絡会議を行ったり、小学校の行事に参加したりしている。
保護者や外部評価等の意見を取り入れ、保育活動に生かしているか。	B	保護者の意見を取り入れているが、外部評価も検討していきたい。
保育を公開したり地域の行事に参加したりして保護者や地域住民の理解や協力を得て、開かれた保育園づくりを行っているか。	B	保護者には保育参観や行事を通じて理解してもらえが、地域の人との交流をもっと深めていきたい。
(7) 安全確保への取り組みに関すること		
あらゆる場面を想定しての危機管理体制の共通理解が図られているか。	A	避難訓練内容の検討や実施を通し、共通理解を図っている。
外部からの侵入に対する対応策がとられているか。	B	駐車場入り口や玄関の施錠、防犯カメラ設置等を通し、外部からの侵入を防止し、侵入された時の対応策を講じている。
こどもに見知らぬ人や挙動不審な人に出会った際の対応について指導されているか。	B	避難訓練等を通じ、不審者の対応について話している。